

# 一人ひとりのSDGs

最近、新聞やニュースで取り上げられる「SDGs」という言葉。カラフルな色のSDGsバッジをつけている人もよく見かけます。SDGs (Sustainable Development Goals) っていう何? という素朴な疑問から、「誰一人取り残さない」という基本理念の実現に私たち一人ひとりが何をしたらいいのかまでわかりやすくお伝えします。



宮崎市内でも増えてきたSDGsを学ぶ職場セミナー

**Q4** SDGsが大きなビジネスチャンスという話を聞きました。それはどういふことですか?

**A** SDGsは単なる社会貢献ではありません。「ありたい未来」を目指すときに、自分たちが何をすべきか、どうやって利益を生み出していくかに知恵を絞ることが、長続きする、つまり持続可能な社会づくりにつながると考えられているからです。今、金融界のトレンドは環境、社会、ガバナンス(企業管理)に配慮した企業に投資する「ESG投資」です。たとえば、宮崎銀行も「持続可能な地域経済の成長」に貢献するため、SDGs、ESG関連投資を3か年の累計で1千億円に定めているとのこと。人に優しく、環境にも優しいビジネスモデルを進めることが企業価値も高めることとなります。

これがSDGsの17のゴールです!

<b>1</b> 貧困をなくそう	<b>2</b> 飢餓をゼロに	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に	<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを
<b>12</b> つくる責任つかう責任	<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう	<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に	<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう					

**Q1** SDGs(持続可能な開発目標)って何ですか?

**A** SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され、2030年までによりよい世界を目指す国際目標です。17の目標(ゴール)とより具体的かつ詳細な169のターゲットで構成されています。地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、全世界共通の目標として、経済・社会・環境の様々な課題を統合的に解決することの重要性が示されています。先進国・開発途上国を問わず、世界全体でSDGs達成に向けた取り組みがはじまっています。

**Q2** 17の目標を教えてください

**A** 上のカラフルなアイコンを見てください。17の目標は、「貧困」や「ジェンダー平等」、「気候変動」など地球全体に関わる問題を解決することや「健康と福祉」「質の高い教育」「安全な水とトイレ」など資源やサービスをあらゆる人に届けることなど、みんなで達成するために設定されています。17の目標は全て関係しているため、一つでも欠けると、最終的な解決になりません。

**Q3** SDGsを達成するために必要なことは何ですか?

**A** SDGsの達成に取り組む主体は、国連や各国の政府だけではなく、行政や民間企業、金融機関、市民団体などのあらゆる組織です。そして何より私たち一人ひとりのSDGsへの参加が期待されています。宮崎市でもあらゆる機会を活用し、SDGsに関して周知啓発するとともに、日常生活や民間企業等の経営にSDGsを取り入れていただくための取り組みを進めていきます。

**Q5** 宮崎市ではどのようなことに取り組んでいるの?

**A** 宮崎市は、市民や団体等と連携しながら、新たな価値を共に創造する「共創」の考え方のもと、まちづくりを進めています。「共創」とSDGsの理念は同じ趣旨であり、昨年度末に策定した「第2期宮崎市地方創生総合戦略」の基本的な考え方の一つに、「SDGsとの一体的な推進」を設けました。まずは、SDGsの理解を広げていくことが大事になると考えています。市民や団体等とSDGsを「共通の言語」に連携しながら、様々な取り組みを推進する中で、SDGsの達成を実現していきます。

**Q6** 私たちができることはありますか?

**A** はい。私たちがこの世界を形作っており、一人ひとりの意識、活動がSDGsを達成できるか否かにかかっているのです。たとえば「食品ロス」の問題。これは、12の「つくる責任つかう責任」をはじめ、12の目標にも通じますが、農林水産省が発表した平成29年度の推計値によると、日本では年間2550万トンの食品廃棄物等が出され、まだ食べられるのに廃棄される食品だけを見ても612万トンもあります。これは毎日10トントラック1700台分の食品が廃棄されている計算です。お茶碗1杯(139g)のご飯に換算すると国民全員が1年間毎日捨てていることとなります。食べきれないものをまた買わないようにするなど、今日からできることがたくさんあります。



備蓄している食料品の消費期限を調べることもSDGs達成のひとつに



最近、スーツの襟元などにつけている人も多いSDGsのカラードール

詳しくはこちらにまとまっているのでぜひご覧ください

<https://www.unicef.or.jp/sdgs/target.html>

